

平成 21 年度富山県薬事研究所研究課題外部評価結果について

薬事研究所では、平成 16 年度から「薬事研究所研究評価実施要領」に基づき、重要な研究課題について、評価の客観性・透明性を確保するため、外部の専門家からなる外部評価委員会を開催しています。

平成 21 年度、外部評価委員会に諮った研究課題の評価結果等は次のとおりです。

- 1 開催日時 平成 21 年 10 月 9 日（金）13:30～16:30
- 2 開催場所 富山県薬事研究所研修室
- 3 外部評価委員（○：委員長）

委員名	役 職
飯沼 宗和	岐阜薬科大学生薬学講座 教授
○倉石 泰	富山大学医学薬学研究部 教授
合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所生薬部 部長
寺島 信雄	富山化学工業(株)創薬基盤研究所 所長
松井 竹史	テイカ製薬(株) 代表取締役社長

4 評価方法

評価方法は、評価区分ごとに定められた評価項目及び総合評価について、それぞれ 5 段階評価とし、次の評価基準に従い評価を行っていただきました。

<事前評価>

評価項目	評価基準				
	5	4	3	2	1
必要性 新規・創造性 目標達成の可能性 研究の妥当性 期待される効果	非常に高い	高 い	普 通	低 い	非常に低い
総合評価	非常に優れている	優れている	普 通	改善が必要	研究の価値が見込めない

<中間評価>

評価項目	評価基準				
	5	4	3	2	1
研究の進捗状況 目標達成の可能性 期待される効果	非常に高い	高 い	普 通	低 い	非常に低い
総合評価	非常に優れている	優れている	普 通	改善が必要	研究の価値が見込めない

5 評価結果

今年度は、次の研究課題について外部評価を行いました。

詳細につきましては、[各個票\(pdf\)](#)をご覧ください。

番号	評価区分	研究課題	評価結果
1	事前評価	当所研究装置による製剤研究と県医薬業界への製剤指導	指摘事項を修正後に実施 〔 各評価項目：19.2/25 〕 〔 総合評価：3.8/5 〕
2	事前評価	免疫調節作用を有する天然物の薬効解析に関する研究	実施すべき研究 〔 各評価項目：20.2/25 〕 〔 総合評価：4.0/5 〕
3	事前評価	県内医薬品製造業者の分析データ信頼性確保事業	実施すべき研究 〔 各評価項目：21.6/25 〕 〔 総合評価：4.2/5 〕
4	事前評価	シヤクヤクの栽培試験と品種別薬理試験	指摘事項を修正後に実施 〔 各評価項目：17.2/25 〕 〔 総合評価：3.4/5 〕
5	中間評価	がん免疫抑制状態を克服する天然物の探索と機序解明	研究継続 〔 各評価項目：13.4/15 〕 〔 総合評価：4.6/5 〕

(備 考)

評価結果の取扱い

○ 事前評価 (25 点満点)

- ・評価点数が 20 点以上の研究課題：実施すべき研究
- ・評価点数が 10 点以上 20 点未満の研究課題：指導事項を修正後に実施すべき研究
- ・評価点数が 10 点未満の研究課題：取りやめるべき研究

○ 中間評価 (15 点満点)

- ・評価点数が 12 点以上の研究課題：研究継続
- ・評価点数が 6 点以上 12 点未満の研究課題：指導事項を修正後研究継続
- ・評価点数が 6 点未満の研究課題：評価年度をもって終了

6 今後の対応

「指摘事項を修正後に実施すべき研究課題」として評価された番号 1 及び 4 の研究課題について、次のとおり対応いたします。

<番号 1 >

- ・来年度以降、具体的な目標設定に努めます。
- ・製薬業界の意向を反映できるよう情報収集を行ってまいります。
- ・今年度、攪拌造粒機（新規）、整粒機（更新）及び打錠機（更新）を整備したところですが、引き続き、最新の製剤機械の導入に努めます。

<番号 4 >

平成 22 年度当初予算編制に際し、研究計画を次のように改め、新規事業として要求いたします。その他いただいた意見につきましては、予算が認められ、研究内容を詰める際に検討いたします。

- ・検体数は、ラクチフローラ種で、かつ、切花としても商品価値のある品種の中から、ペオニフロリン等の測定結果、収量等を考慮し、60 品種（30 品種／年）に絞り込む。
- ・1 品種あたり 3 株の HPLC の一斉分析を行う。

また、上記以外の研究課題に対していただいた意見を今後の研究に生かし、研究目的の達成に向けて努力していきたいと考えております。